



わたしと憲法 第2話

“平和憲法を何としても
守り貫きたい”



もりやま支部
山本 友子

私の意に反して、今年「後期高齢者医療保険」の枠組みに入れられ保険料もアップで怒り心頭。あの世界大戦を体験した世代として平和憲法を何としても守り貫きたい。

私はとくに女性の立場から憲法の基本的人権の崇高な精神に感銘を受けています。私の母親の時代、女性は親に従い、嫁して夫に従い、老いて子に従いと法的に無権利、子の親権もないのが女たちでした。母が暗い襖裏の庭で泣いていた姿は幼かった私の記憶に今でも残っています。「男に生まれたかった」と言った言葉とともに戦争で翻弄された母の人生を思うにつけ、人間として尊ばれる条項を明記した「憲法」を誇りに思うと同時に「改憲」を狙う輩に怒りを禁じえない。

この瞬時も「秘密保護法案」なるものが国会へ上程されようとしています。しっかり監視していきたい。

